

平成 28 年（2016 年）12 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（3 日目）

平成 28 年 12 月 13 日（火）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	喜舎場 盛三 (公明党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 教育行政について 2 特別支援教育について	(1) 12 月 7 日、不登校の子どもの学校外での学びを支援することを明記し、フリースクールや夜間中学など、多様な学びの場づくりを進める「教育機会確保法」が成立した 本市にもフリースクールで勉強している子ども達や夜間中学で学んでいる高齢者もおられると思うが、同法律への当局の見解を伺う (2) 本市の不登校の子ども達への支援はどのようなになっているのか伺う (3) 不登校で出席日数が足りなくても、教育的配慮から卒業資格を得る場合があるが、その子ども達が実際の学力が伴わずそのまま高校へ進学するには、力が不足である場合がある。その子ども達の学び直しの機会はどのようなになっているのか伺う (4) 戦後の混乱期の中で義務教育を受けられなかった方々が、もう一度学びたいと希望する場合、教育を受ける機会の確保について当局の見解を伺う 障がいのある児童・生徒は、その一人ひとりのニーズに応じたそれぞれのライフステージで切れ目なく支援することが必要であり、学習指導要領でも「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成の必要性が明記されているが、本市の学校現場での取り組み状況を伺う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 トイレ行政について</p> <p>4 交通行政について</p>	<p>(1) がんや事故などにより臓器に機能障害を負って、手術により人工的に腹部へ人工肛門を造設した方が本市にも多数おられる オストメイト対応トイレの公共施設、民間施設での設置状況を伺う</p> <p>(2) 最近、一般家庭や様々な施設においても温水洗浄便座(ウォッシュレットシャワートイレ)が設置されている所が多くなっている。健常者にとっても大変ありがたく、手に障がいを持っている方々にとっては大変助かっているようである 本市の公共施設での設置状況を伺う</p> <p>古蔵小学校の南側の十字路で、一方向のみの信号機しか設置されていない交差点があるが、最近事故がたびたび発生しているようである 同交差点は隣に保育園と小学校があり、小学生が多数歩行しており、車同士の事故に巻き込まれる危険性が高く、住民から改善を要望する声が以前から多く上がっている 当局は警察へ強く改善を要望すべきである。 見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	亀島 賢二郎 (なはの翼 【無所属G】) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 スポーツ行政について 2 公園行政について 3 沖縄都市モノレール延長事業について 4 NAHAマラソンについて	(1) 市内の中学生の高校進学で県外にスポーツ進学した生徒数について伺う (2) 中学校部活に外部指導者を入れている学校は何校あるのか伺う (3) 小・中学校の運動系外部指導者の育成について本市の見解を伺う (1) 新都心公園内の一部の木の下で休憩することが出来ないがどのような理由なのか (2) 公園内有料駐車場になり、迷惑駐車現状を伺う 沖縄都市モノレール延長事業の進捗状況について伺う 第32回NAHAマラソンの運営について伺う (参加者数、完走率)
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>我如古 一郎 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 いじめ対策について</p> <p>2 介護行政について</p> <p>3 歴史散歩道整備事業について</p>	<p>(1) 「いじめ防止対策推進法」に基づく、本市の取り組みを問う</p> <p>(2) 本市のいじめ認知件数を問う(2013年から2015年の3年間)</p> <p>(3) 那覇市いじめ防止基本方針について以下伺う</p> <p>① いじめは人権侵害である、という共通認識、憲法と子どもの権利条約を踏まえ、子どもはいじめられず、安全に生きる権利を持っていることを、基本理念に据えているか</p> <p>② 隠ぺいを根絶するために、被害者、遺族等の真相を知る権利を保障すべきである。どのように規定しているか</p> <p>(1) 城間市政の下で取り組まれた介護事業の概要について問う</p> <p>(2) 2017年4月から介護保険制度の給付から要支援1・2の国民が総合事業に移行される。本市の対象者は何名か</p> <p>(3) 要支援1・2の皆さんの介護サービスを継続するための、本市独自の総合事業の内容を問う</p> <p>(1) 歴史散歩道「うしゅがなしいめえまーい」の進捗状況、今後の計画を問う</p> <p>(2) 那覇市道松城中学校東側線、松城中の横から繁多川へ上る急坂部分は、車がすれ違うことが窮屈な、狭い道路になっているが、拡幅や退避場所などの設置が必要ではないか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>多和田 栄子 (社社市民ネット)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 保育士の待遇改善について</p> <p>2 こども医療費「現物給付」について</p> <p>3 更生保護女性会への活動支援について</p> <p>4 沖縄都市モノレール延長事業について</p>	<p>政府は重要政策のひとつとして「待機児童ゼロ」の実現にむけて保育士の待遇改善を打ちだし、2017年度から引き上げる方針を表明。それでも保育士の年収200万余りである。明らかに安いと言える。そこで以下伺う</p> <p>(1) 本市の保育士の年収はどのようになっているか</p> <p>(2) 保育士配置は足りているのか</p> <p>(3) 今後の給与の待遇改善について、那覇市の見解を伺う</p> <p>こども医療費の補助金交付要綱を沖縄県が本年度中に改正する方向で調整が進められている。このことを受けて、以下伺う</p> <p>(1) 沖縄県の制度導入への要綱改正が導入されたら「現物給付」への見通しはあるのか</p> <p>(2) 南風原町が1月から「現物給付」実施する予定とのことである。那覇市の今後の取り組みを伺う</p> <p>本市には更生保護女性会として那覇支部、首里支部、真和志支部、小禄支部の4つの支部があり、犯罪・非行予防活動、青少年の健全育成活動等、安心・安全なまちづくりに取り組んでいる</p> <p>この件については、平成26年12月議会で取り上げていて、福祉部長は次のように答弁している。「今後どのような支援ができるかについては、更生保護女性会の活動内容や予算状況、県内市町村の支援状況をふまえ内容を検討していきたい」と答弁している</p> <p>その後、どのように検討されたのか見解を伺う</p> <p>沖縄都市モノレールの進捗状況について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	高良正幸 (新風会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 平和行政について 2 マイナンバー(個人番号)と法人番号制度について 3 文化行政について	那覇・福州友好都市締結35周年記念事業について、以下伺う (1) 福州市の歴史と琉球との関係 (2) この事業の意義 (1) 個人番号制度の概要について (2) 個人番号制度の利便性について (3) 法人番号制度の概要について (1) 那覇市民会館の休館に至るまでの経緯 (2) 那覇市民会館の休館に伴う市民の文化(演奏等)活動への対処について (3) 那覇市文化協会のあけもどろ総合文化祭の意義 (4) あけもどろ総合文化祭の「新たな文化芸術の祭典」への取り組みについて
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>古堅 茂治 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 沖縄振興特別推進交付金（ソフト交付金）について</p> <p>2 ふるさと納税（那覇市ふるさとづくり寄付金事業）について</p> <p>3 プロ野球・読売ジャイアンツの那覇キャンプについて</p> <p>4 ホームレス等住居のない生活困窮者対策について</p>	<p>「21世紀沖縄ビジョン計画」の前期5年が過ぎ、後期5年が来年度から始まる。2012年度にスタートして以来の交付額、事業数、主な区分毎比率等について問う</p> <p>2015年2月20日の代表質問で、私は本市の収入を増やし、記念品で地場産業の振興につなげるためにも攻めの姿勢で積極的に取り組むよう提起した。当局が取り組みを改善、強化した結果、JTBが運営するふるさと納税サイト『ふるぽ』の2016年度上半期自治体ランキング（地方別・九州沖縄）で那覇市は4位となっている。件数、金額、取り組み等について問う</p> <p>(1) 経済効果と青少年に与える影響等について問う</p> <p>(2) 来年の那覇キャンプが2月14日から3月1日までと今年より6日間延びることへの対応と影響・効果等について問う</p> <p>(1) ホームレス確認、相談、巡回等の取り組みについて問う</p> <p>(2) 一時的な宿泊所等の提供や就労支援等を行うことによってホームレスからの脱却及びホームレス化を防止し、自立を図る「一時生活支援事業」の実績を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 LGBTなどの性の多様性の尊重について</p> <p>6 通学路の安全確保について</p>	<p>2015年2月20日の代表質問で、私がこの問題をはじめて取り上げて以来、議員の理解も深まり、市当局をバックアップする質問が増えていることは頼もしく、力強い</p> <p>(1) 11月12日のなは女性センター開設20周年記念シンポジウム「レインボーなは～性の多様性を尊重するまちづくり～」の開催にあわせて発行したレインボーパンフレットは市民の理解を高めるために大きな役割を発揮する。改めて発行の意義と活用への取り組みについて問う</p> <p>(2) LGBTなど「性的マイノリティ」の児童生徒について、教育現場はどう対応すべきか。文部科学省は今年の4月1日、教職員向けパンフレットを公表している。1クラスに2～3人は性的マイノリティ当事者がいるというデータがある中、子どもたちが学校で「性の多様性について」学ぶ機会を拡充することが求められている。本市の担当部局は、その重要性に鑑みて教員などへの講習を実施しているが、本市発行のパンフレットの活用など今後の学校現場での取り組みの促進について、教育長の決意を伺う</p> <p>全国各地で登下校中の児童生徒が交通事故に巻き込まれる事例が多発している。本市での児童生徒の通学中の交通事故発生状況、通学路のガードレール設置などの安全対策の実施状況を問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	<p>瀬長 清 (なはの翼 【無所属G】)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 図書充実行政について</p> <p>2 保育所行政について</p> <p>3 農業行政について</p> <p>4 道路行政について</p>	<p>那覇市の小中学校図書館の図書の充実について</p> <p>公立小中学校の図書館において、全国で国が定めた蔵書数の基準を満たしているのは、2016年3月末時点で小学校は66.4%、中学校は55.3%にとどまることが、文部科学省の調査で明らかになった</p> <p>読書のこども達の成長に及ぼす効果だけでなく、国語の学力向上の観点からも小中学校の図書館の図書の充実が必要と考えるが、当局の所見を求める</p> <p>(1) 那覇市の小中学校の図書館での蔵書数について、国の定めた基準に対し、2016年3月末時点での状況はどうなっているか</p> <p>(2) 那覇市の小中学校の国語の学力向上と、学校図書館教育の現状について伺う</p> <p>那覇市の子育て支援、保育所の整備について</p> <p>将来の少子化、親の就労希望者増の中、自治体は保育需要の予測に厳しい判断を迫られ、子育て支援、保育所の整備をどうしていくか、大きな課題に直面している。そこで当局の所見を求める</p> <p>(1) 少子化と親の就労希望者増の中、那覇市は、待機児童問題と保育所の整備について、どのような認識を持っているか</p> <p>(2) 今後この問題にどのように取り組んでいくのか</p> <p>ハーブ(バジルベト病)被害に対する生産資材補助及び農業施設に対する補助事業にどのように対策したか伺う</p> <p>市道小禄・赤嶺線の現状と進捗状況について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	<p>栗 國 彰 (自 民 党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 福祉行政について</p> <p>2 B型肝炎訴訟について</p> <p>3 第一牧志公設市場整備事業について</p> <p>4 那覇市民会館の休館について</p>	<p>生活保護世帯に対し、貸与型奨学金を収入として生活保護費返還を要求している。そうなれば、貸与奨学金も貸付先に返済する義務がある。これでは、貸与額は2倍の2重借金を負うことになる。貸与型奨学金を収入とせず、見直す事は出来ないか伺う</p> <p>B型肝炎訴訟で、国と和解した男性に対し、生活保護開始前の和解日によって、保護費の返還を要求していたが、厚労省が沖縄市、沖縄県は間違っているとした。本市に何人のB型肝炎原告者数があるのか、和解者数は何人なのか伺う</p> <p>(1) 9月7日に市民や関係者に説明会で現地に建て替える方針を示しているが、現在地に建て替えは、決定なのか、その経緯について伺う</p> <p>(2) 仮店舗について、当初の移転計画は、2階建て施設案は、約12億円と聞いていたが、平屋に変更した理由を伺う</p> <p>(3) 平屋に変更すると入居出来ない店舗が発生すると思うが、入居出来ない店舗の補償について、事業者側には十分な説明を行ったか伺う</p> <p>那覇市民会館の休館の経緯と今後の対応について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 道路行政について</p> <p>6 泊魚市場の競り機能を糸満漁港に移転する計画について</p>	<p>識名園裏通りは半年以上、通行止めとなっている。真地地域付近住民や観光客に迷惑になっている。いつ通行解除になるか伺う</p> <p>泊魚市場の競り機能を糸満漁港に移転する計画と聞いているが、本市の泊魚港一帯の再整備をどのように考えているのか伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	<p>桑江豊 (公明党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 スポーツ行政について</p> <p>2 港湾行政について</p> <p>3 下水道行政について</p>	<p>市長公約「J1対応サッカー場建設」について以下伺う</p> <p>(1) 県が那覇市からの用地購入を断念し、無償貸与になった経緯について伺う</p> <p>(2) 総事業費那覇市(140億円)、県(218億円)の違いについて伺う</p> <p>(3) 今後の那覇市のかかわり方について伺う</p> <p>クルーズ船第2バース整備について直近の動きを伺う</p> <p>(1) 那覇港港湾計画の一部変更の進捗及びその内容について伺う</p> <p>(2) 今後の整備に向けたスケジュールについて伺う</p> <p>ハーゲラ川幹線暗渠部覆工板設置工事について以下伺う</p> <p>(1) 工事の進め方及び工期について伺う</p> <p>(2) 安全対策と周辺住民への説明責任について伺う</p> <p>(3) さつき小児童通学路の安全確保策について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
10	糸数 昌洋 (公明党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 総合計画について 2 市歌について 3 市花木について 4 交流連携都市について	今月1日から行われている「第5次総合計画の市民提案の素案に対する意見募集」の概要について問う 新たな市歌選定の取り組みの進捗状況を問う 市の花木であるホウオウボクの管理について、市内におけるホウオウボククチバ(蛾の幼虫)の発生状況と対応について問う 交流連携都市の意義と本市の取り組みについて問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（3日目） 平成28年12月13日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
11	平良 識子 (社社市民ネット) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 一問一答方式 (質問席のみ)	1 子育て支援について 2 健康行政について 3 ワークライフバランスの推進について	<p>病児・病後児保育について、市内3カ所に開設しているが、保育園併設型でも病後児保育事業を実施し子育て支援を拡充すべきである。対応を伺う</p> <p>(1) 乳がん検診内容の改善について 沖縄県における女性のがん罹患率の1位が乳がんであり、全国比較でも乳がん死亡が高い状況にある。本市の実施する乳がん検診について、がんの早期発見につながらない視触診検診を廃止し、その予算をエコー検査に充て、30代ではエコーの実施、40代ではエコーとマンモグラフィー両方を受診できるよう検診内容の改善を議会で求めてきたが、どのように改善されたのか伺う</p> <p>(2) 若年性認知症支援相談窓口の設置について伺う</p> <p>(3) 本市の子どものむし歯の罹患状況及び歯科口腔保健条例の制定について伺う</p> <p>(1) 市職員における男性の育児休業等取得者の現状と推移、その評価を伺う</p> <p>(2) 県が今年5月より県職員のワークライフバランスの向上や交通渋滞による疲労緩和を目的に導入してきた5パターンから選べる時差通勤制度について、那覇市の状況を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>